

宮前小学校の歴史

明治6年	3月	小雑賀小学校、真乗寺内に創立。
8年		杭ノ瀬小学校、蓮光寺内に創設。
9年	3月	宮前小学校前身、手平小学校が光福寺内に創設。手平・南出島・新中島を学区として53名入学する。
12年	1月	杭ノ瀬小学校の一部が手平小学校に合併、残りは杭ノ瀬分教場となる。
15年		昌地小学校、善教寺内に創設。
21年	11月	昌地小学校、手平小学校に合併。
22年	2月	和歌山市が誕生する。
26年		小雑賀小学校、宇須小学校に合併。明治35年に再び分立する。
37年	4月	手平小学校、光福寺より現在地に移転。
38年	3月	小雑賀小学校、手平小学校と合併。
38年	4月	手平小学校、宮前第一尋常小学校と改称。
38年	5月	杭ノ瀬分教場が本校に合併。
41年	4月	義務教育6カ年になる。
大正3年	4月	高等科を併置し、宮前尋常高等小学校と改称。
昭和8年	6月	宮前村が和歌山市に合併。学校も和歌山市立となる。
16年	4月	和歌山県和歌山市宮前国民学校と改称
20年	7月	和歌山大空襲。校舎には異常がなかったが、手平北部地区消失する。
21年	2月	給食開始
22年	4月	新学制(6・3・3)により、和歌山市立宮前小学校と改称。
32年	8月	創立80周年記念式典を挙げる。
37年	7月	鉄筋校舎第1期分、落成式を挙げる。
38年	8月	プール竣工。工費750万円。
46年	8月	国体道路完成。校地の西側約120坪が削られる。
48年	1月	給食調理が共同調理場に移る。
50年	6月	プールに地盤沈下による亀裂が生じたために撤去し、運動場南に簡易プールを新設。
51年	3月	百周年記念式典を挙げる。
52年	4月	体育館が竣工。
53年	10月	本館完成。
54年	11月	バックネット、正門前の池、校門付近の舗装、南木造校舎の南運動場の整備などが完成する。
55年	9月	校門付近の花壇、育友会員の手で完成。
55年	11月	小鳥小屋、学習園完成。
56年	11月	全学級にカラーテレビ設置(3カ年計画)。育友会員の協力により1・2・4年は私費で設置。

57年	2月	理科教材園完成。
58年	3月	新校舎建設工事起工式。
59年	3月	新校舎完工(普通教室4、資料室4、特別教室2、集中昇降口、前庭、校門)
60年	3月	工費 1億3304万9000円
60年	12月	前庭植樹、体育館南横の中庭舗装。図書室絨毯敷設。
61年	1月	西正門内側塀沿いに花壇設置。新校舎建設工事起工式。
63年	9月	新校舎完成。
平成元年	7月	プール新設。
3年	7月	運動場改修工事。
4年	3月	北校舎廊下張り替え。
5年	8月	南校舎廊下張り替え。
6年	2月	パソコン教室設置。10台設置。
6年	3月	下水処理及び運動場便所の水洗工事。
7年	8月	創立120周年を迎え、お祝い集会開催。
8年	8月	保健室にシャワールーム設置。
9年	8月	給食室荷受け室改装。
10年	12月	南校舎増改築工事開始。
11年	12月	南校舎増改築工事完工。(普通教室8、特別教室3、会議室1、教育相談室1)工費 5億5278万9000円。運動場整地。
12年	2月	校舎増改築竣工式を行う。
14年	8月	東門改築。
14年	9月	パソコン室にエアコン設置。
15年	3月	社会教育施設(交流室)設置。車椅子用スロープ設置。
18年	3月	創立130周年を迎え、お祝い集会開催。
19年	7月	耐震工事を行う。
19年	10月	パソコン入れ替え作業終了。
20年	4月	障害者用トイレ(1階)の改装
22年	3月	障害者用トイレ(2階)の改装
22年	4月	パソコン室電子黒板設置
23年	3月	鉄棒、トウハン棒取り替え
23年	6月	ブランコの周辺に柵取り付け
24年	2月	北校舎トイレ(1階)の洋式化
24年	3月	北校舎家庭科室(2階)、被服室前(3階)、高学年図書室前(2階)スロープ化